

# 災害時緊急Webサイト

財団法人 砂防フロンティア整備推進機構

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4砂防会館別館6F(TEL 03-5216-5871)

キーワード: Web, GIS, 警戒避難、緊急サイト、土砂災害警戒区域、ハザードマップ、データベース

## 1. 概要

地震や台風、集中豪雨などで大規模な土砂災害が発生した場合は、国や砂防学会などの各種機関の専門家や砂防ボランティア等が支援のため現地に入りますが、喫緊の対応で現地の砂防担当部局が混乱する中で、関係者が共有すべき情報は多岐に渡ります。

本システムは、大規模災害が発生した時に現地の土砂災害関連情報を、当機構内で24時間365日管理運営しているGISサーバーを用いてWeb配信し、現地調査団等の関係者がインターネットで情報を閲覧し、また必要に応じてデータを書き込んだりダウンロードすることが出来る機能を実装した当機構の後方支援サービスシステムです。

## 2. 特徴

現地で調査・対応している人にデータ提供して後方支援するためには、配信できるデータを日頃から集約管理し、配信のための仕組みを確立しておくことが必要です。

管理データとして、現地の詳細な地形状況の把握が可能となる砂防基盤図やデジタルオルソ、土砂災害発生のポテンシャルを示す土砂災害危険箇所情報などが有益であることは過去の災害対応の経験から明らかになっています。

これらの情報は基本的には都道府県の砂防部局や直轄砂防担当事務所で管理されているため、全国の土砂災害に対して速やかに情報配信を実施するには、日頃から情報を収集し、集積していることが必要となります。

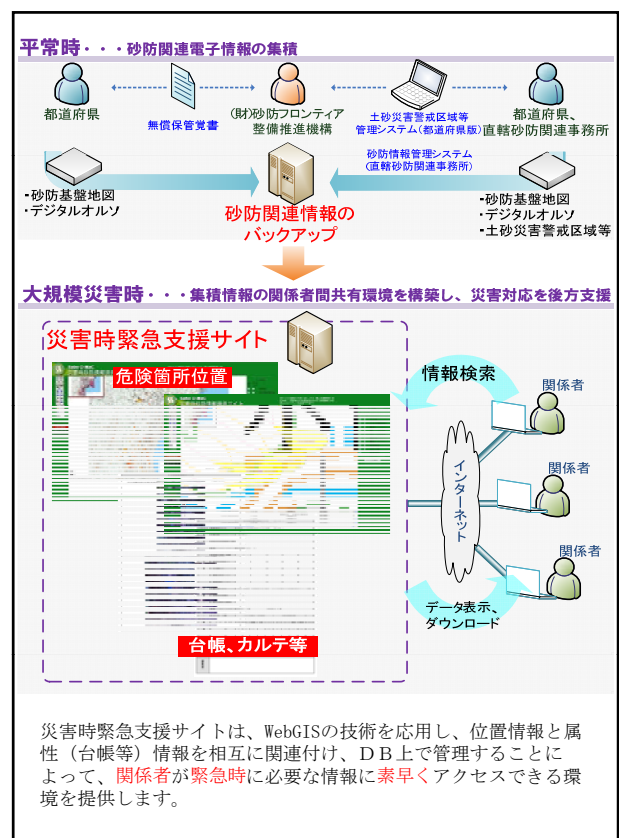
当機構では、都道府県や直轄砂防担当事務所と「砂防関連情報の保管に関する覚書」を順次締結し、各機関が保有する砂防関連電子データを無償でバックアップ保管させていただくというサービスを公益事業として実施してまいりました。

これらのデータは位置情報をベースとしたデータベースであり、その他の電子情報もこのデータベースと連携させて検索することが可能なことから、土砂災害時の緊急情報としては情報ボリュームやそのレベル、コンテンツアップの即時性など、日本で唯一といえるサービスです。

## 3. 実績

当機構では平成18年の中越地震を契機に試行錯誤しながら災害時緊急支援サイトを立ち上げてきており、昨年の岩手・宮城内陸地震による土砂災害をはじめ、これまで4度の大規模土砂災害に対応してまいりました。現在、当機構の SABO D-MaC には全国約30都県の砂防基盤図データ、全国約10の直轄砂防担当事務所の砂防関連電子情報がバックアップ管理されています。

現在、地図情報を媒体とした掲示板機能を持たせるような機能を開発しており、完成後は配信するだけの役割から、ユーザー間の情報交換や意見のやり取りが可能な双方向性システムとなります。



【問合せ先】

砂防管理情報センター 担当 宮川 学 (TEL.03-5216-5855)